

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	京都産業大学附属高等学校
所在地	京都市下京区中堂寺命婦町1-10
電話番号	075-279-0001

<p>(1) 建学の精神</p>	<p>「知性」「品格」「気概」を校訓とし、「豊かな教養と、全人類の平和と幸福のために寄与する精神を持った人間の育成」を教育目標とします。</p>																																										
<p>(2) 本校の特色及び将来展望</p>	<p>①生徒が将来一人の社会人として自立し、社会に貢献できる人物に成長していくために、生徒一人ひとりの進路希望を実現するためのきめ細かな指導を行い、高い学力を修得すべく個に応じた教育を行います。また、大学附属校であることの利点を活かし、中学・高校・大学の一貫教育、連携教育を積極的に行います。 ②同時に、高い倫理観を持ち、幅広い教養と逞しい行動力を持った人間力（人間性）溢れる人物として成長していくために、課外活動への参加を奨励し、人間教育やきめ細かい生活指導を積極的に行います。</p>																																										
<p>(3) ・令和6年度納付金 ※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。 ・今回改定 あり なし ・前回改定 令和4年度</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>【1年生】</td> <td>入学金</td> <td>施設拡充費 (入学時)</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計 (入学時除く)</td> <td>審査料</td> </tr> <tr> <td></td> <td>120,000</td> <td></td> <td>600,000</td> <td>320,000</td> <td>920,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>【2年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>600,000</td> <td>325,000</td> <td>925,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【3年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>600,000</td> <td>315,000</td> <td>915,000</td> <td></td> </tr> </table> <p>*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料		120,000		600,000	320,000	920,000	20,000	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					600,000	325,000	925,000		【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					600,000	315,000	915,000	
【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料																																					
	120,000		600,000	320,000	920,000	20,000																																					
【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			600,000	325,000	925,000																																						
【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			600,000	315,000	915,000																																						
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>社会の経済状況を踏まえ、学費変更による負担を保護者をお願いすることは、非常に困難なことではありますが、本校においても人件費の抑制、支出の抑制などに努めてまいりました。しかしながら、オンライン英会話にかかる費用やICTによる教育支援ソフトに係る費用など、グローバル化社会を見据えた教育活動を展開していくうえで、今後も財政を圧迫する要因は存在するため、納付金の増額改定は最小限に抑えつつ、教育の質的向上に努めてまいります。</p>																																										
<p>(4) 教育内容、施設整備の改善・拡充等の状況</p>	<p>「建学の精神」を基本とし、将来のグローバル化社会で活躍できる人材の育成。さらに、それぞれのコースの進路実現を目標として教育活動に取り組んでいます。特進コースを対象とした外部講師による放課後特別講座(αゼミ)を実施し、学力の伸長に努めております。また、ICTを活用した教育の推進及び全校生徒が所持する端末の有効活用に向けて環境の整備も継続して行っております。保護者の負担を少しでも軽減すべくウェブ欠席連絡システムを導入しております。グラウンド及び屋上の一部の人工芝化、全フロアに「誰でもトイレ」を完備し、生徒の安心・安全の確保に努め、授業やクラブ活動のさらなる充実・有効活用を図っております。しかしながら、グラウンドは十分な広さを確保できておらず、クラブ活動等の利用状況により、外部機関のグラウンドを借用している状態です。今後は、グラウンドの確保が解決すべき課題となっています。</p>																																										
<p>(5) 令和6年度の保護者負担軽減策及び考え方</p>	<p>これまで、成績優秀者に対し奨学金制度を設け、授業料の全額減免、半額減免、1/3減免を実施してきました。また、兄弟姉妹在籍者には、入学金の一部を入学後に減免しています。さらに、「サギタリウス基金」を原資とする奨学金制度を運用しております。</p>																																										
<p>(6) 今後5年程度の保護者負担軽減計画</p>	<p>奨学金制度の運用により、保護者の負担軽減を図っておりますが、ICT機器導入に伴う保守費用や社会のニーズに応じた教育課程の再編成により、費用の増加要因は増えるばかりです。やむを得ず納付金の増額改定を行う場合は最小限にとどめ、学費の在り方、奨学金制度のさらなる充実等により保護者負担の軽減を図れるよう検討を行うこととしております。</p>																																										